指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	多伎文化伝習館	施設所管課	文化スポーツ課
指定管理者	多伎文化伝習館運営委員会	指定管理期間	令和3年04月01日　から 令和8年03月31日　まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 自主事業等のイベント内容について、毎年改良を重ねており、来場者数の増加に取り組んでいる。また、ホームページ、Facebookの利活用により積極的にPRを行い、利用増加に努めている。
	【改善すべき点】 施設PRや自主事業の実施を継続し、施設利用増加に向けた取組を行う必要がある。
指定管理者	【優れていると評価した点】 当館は、築３０年を経過したが、整理整頓と環境浄化に心がけるとともに、季節の花や展示にも心がけ、来館者の心を和ませることに努めている。
	【改善すべき点】 国道9号線から伝習館への入り口標示がわかりにくく、市に対しても何度か要請しているが、改善されていない。来館者からの苦情はイベントの度に届いている。

2．施設利用について

総括	令和7年度の来館者数は前年度より減少したが、これは令和６年度に実施した開館３０周年記念事業等に伴う一時的な集客増加の反動によるものである。年間目標来館者数5,000人対しては大きく上回る実績を達成しており、今年度もたくさんの方に利用していただいた。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

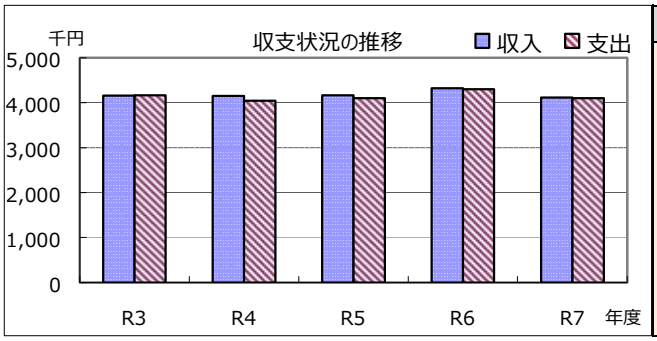
（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
施設の収支	収入	4,159	4,152	4,167	4,317	4,116
	うち指定管理料	3,502	3,523	3,523	3,548	3,546
	うち利用料	23	113	13	71	8
	その他	634	516	631	698	562
	支出	4,164	4,041	4,098	4,304	4,100
	差引	△ 5	111	69	13	16

＜上記以外の市の収入、支出＞　（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
市の収支	収入（使用料）	0	0	0	0	0
	支出	23	56	24	25	66
	うち修繕費	0	0	0	0	0

※大規模修繕を除く

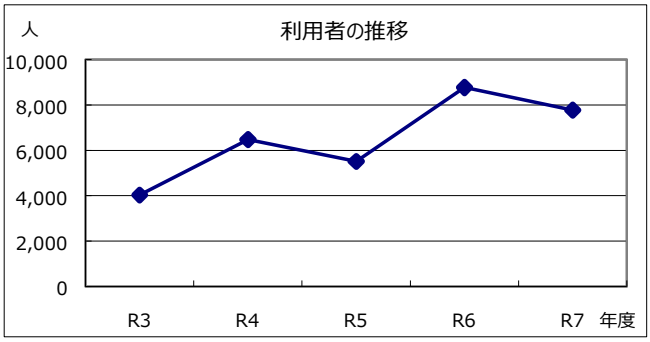


収入増・コスト削減に関する取組
・自主事業で季節感や伝統文化を採り入れたワークショップ（多肉寄せ植え、竹細工、わら細工等）を開催し、参加費収入の確保に努めた。 ・エアコンの適切な温度管理や館内照明をこまめに消すなどして光熱水費の削減を図った。

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	4,034	6,475	5,513	8,769	7,777



利用者の増に向けた取組・利用の動向
自主事業のPRのため、出雲市防災無線、広報いずもなど市への協力依頼、回覧板、ポスター、チラシなどの既存の広報に加え、ＳＮＳを活用し、イベント状況や作品の写真・動画を発信しＰＲを強化した。情報発信のデジタル化により、若い世代がワークショップやイベントに来られるようになった。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
多伎町一きれいな施設を目指して、館内の清掃・消毒を行うとともに、館内に季節の花やイベント出品者の作品を展示し、利用者の方が気持ち良く過ごせるよう努めた。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス				主な意見（問題点）・対応（効果）
40 件	①非常に良い	22	件	55.0 %	【意見】・利用スケジュールを確認しやすくしてほしい・物品を収納するスペースが欲しい・和室に座いすが欲しい 【対応】・来年度から出雲市の施設予約システムを利用し、空き状況を提供したい。・収納スペースを確保するため、整備の見直しをする機会を設けたい。・和室の座いすは来年度購入予定
	②良い	17	件	42.5 %	
	③ふつう	1	件	2.5 %	
	④悪い		件	0.0 %	
	⑤非常に悪い		件	0.0 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

多伎町一きれいな施設を目指して、館内の清掃・消毒を行うとともに、館内に季節の花やイベント出品者の作品を展示し、利用者の方が気持ち良く過ごせるよう努めた。

３．自主事業について

総括	歴史、伝統文化、花卉など多分野に渡る計３７の自主事業を行った。広報のデジタル化やメディアの取材効果もあり、地元多伎町はもとより島根県内各地、県外からも来館者が増加した。
実施状況	・歴史を語る会　毎月　・春の山野草と多肉植物展、寄せ植えＷＳ　4月 ・石飛　準　癒やしの風景写真展　6月　・風ラン鑑賞会　7月　・水墨画作品展　9月　・月見の会　10月 ・秋の盆栽と山野草展　10月　・竹細工教室　10月～2月　・秘蔵アートコレクション展　11月　・しめ縄教室　12月 ・かるた会　1月　・竹細工、わら細工作品展、体験　2月、3月　・もとつねけいこと夢を運ぶ仲間たち　３月

４．施設の維持管理・安全対策について

・館内施設、設備の日常点検、定期点検を実施し、故障や破損などの早期発見、修繕に努めた。
・危機管理マニュアルを作成し、年２回の避難訓練を実施している。
・館内の整理整頓による避難経路の確保、転倒防止のための手すり、標示などを行い事故のない安全な施設運営を行っている。

５．職員（従業員等）の接遇・研修について

・笑顔で丁寧かつ親しみやすい挨拶、対応を心掛け、気軽に来館、利用しやすい雰囲気づくりに努めた。
・日常的に利用者からの意見を職員間で共有し、接遇マナーと対応力の向上を図った。